



3期目会長就任に際して

同窓会 会長 山崎 好美



会員の皆様にはお元気で活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より同窓会活動にご理解ご尽力を賜り有り難うございます。

昨年(2018)の11月17日開催の第43回定期総会において、任期満了に伴い、規約第7条第2項により役員会の推薦と総会での承認をいただき再度会長をお引き受けることになりました。同窓会が発足して43年になりますが、会員である卒業生の皆様方や、本部並びに各支部役員の方々のご協力



を得ながら規約第9条により更に1期2年頑張つて行きたいと存じますので宜しくお願ひします。

3月には卒業生236名を迎えて、会員数は21,200名を超えることになりました。この会員達は奇しく

も平成最後の卒業生となりました。

第48号

発行
 横浜商科大学
 同窓会
 TEL・FAX 045-583-9031
<http://www.shodai-ob.com/index.html>
 印刷
 (有)サン・プリンティング
 TEL 03-3750-6633

4月には、神奈川県民ホールにて平成31年度入学式が挙行されました。当日は晴天に恵まれ沢山のご父兄も出席されました。今年の新入生は369名、編入生4名です。今年も定員数以上の学生を確保したことになります。大学側の説明によりますと、ここ数年来志願者数も増加傾向にあり優秀な学生が数多く入学しているとのこと。また、今年(2019)の女子学生の割合は20%超です。

学科新設については、経営情報学科に『スポーツマネジメントコース』が新設されました。

特色は、スポーツを入り口としたマーケティングやマネジメントなどの知識や理論を取得し、そこで得た知識をどのように活用すれば地域社会



と、あるいは企業に効果をもたらし活性化できるか学ぶことです。来年の春には1期生が入学する予定です。

さて、今年の定期総会は元号が平成から令和に変わり最初の総会です。11月9日(土)に新横浜国際ホテルにて開催をします。

総会では、毎回の事ではありますが活動報告・決算報告

等々の審議、承認をお願いする事になります。多くの会員の皆様に出席をして頂いてご意見、ご提案等々をお願い致します。

この会報紙は会員である卒業生の皆様方と同窓会とを結ぶ大事な情報紙です。年1回の発行ですが会員の皆様を知りたい情報を提供出来るように努めてまいります。

第43回 定期総会・懇親会



清水雅彦理事長



山崎好美同窓会会長



小林雅人学長



お子さまをつれて



第5回 ホームカミングデー (新3号館にて)



支部名産品の数々

2017年度 事業報告

(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

1. 定期総会の開催
2. 同窓会報・ホームページ等による情報発信
3. 本部・支部及び各支部間の連携強化(会員増強のための情報提供)
4. 支部設立の推進
5. 会員名簿の整備及び管理
6. 本部総会・各支部総会への会員出席者の向上
7. 在学生への援助(奨学金・課外活動)
8. 経費の節減
9. 事業実績

2017年

- 10月13日 第50回大学祭(飯山祭)へ支援
- 11月14日 第12回全日本学生剣道オープン大会出場支援
- 11月18日 平成28年度定期総会(第42回)開催

2018年

- 2月26日 卒業事業委員会へ支援
- 3月17日 平成29年度学位記授与式・記念品贈呈・卒業記念パーティー出席
- 4月1日 平成30年度入学式出席
- 4月3日 特待生・同窓会奨学生懇談会出席
- 5月14日 留学生課外活動支援
- 5月29日 奨学金贈呈(同窓会奨学生)
- 6月4日 大学主催の育友会・同窓会との意見交換会出席
- 9月20日 奨学金贈呈(同窓会奨学生)
- 9月30日 同窓会会報第47号発行
- 9月30日 大学へベンチ寄贈

2018年度収支予算書

自 2018年10月1日 至 2019年9月30日

収入の部 単位:円

科目	予算額
I 会費収入	11,500,000
II 事業収入	0
III 資産運用収入	5,000
IV 雑収入	0
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	11,505,000
前期繰越収支差額	51,514,740
収入合計(B)	63,019,740

支出の部 単位:円

科目	予算額
I 事業費	2,200,000
II 準会員支援金	4,070,000
III 組織強化費	3,200,000
IV 管理費	3,350,000
当期支出合計(C)	12,820,000
当期収支差額(A)-(C)	-1,315,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	50,199,740



定期総会の前、12時より支部長会議が行なわれました。支部総会への集客について、なかなか解決策が見つかりません。

2017年度収支計算書

自 2017年10月1日 至 2018年9月30日

収入の部 単位:円

科目	決算額
I 会費収入	11,430,000
II 事業収入	852,000
III 資産運用収入	4,289
IV 雑収入	28,966
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	12,315,255
前期繰越収支差額	52,294,484
収入合計(B)	64,609,739

支出の部 単位:円

科目	決算額
I 事業費	3,824,248
II 準会員支援金	3,413,800
III 組織強化費	3,008,648
IV 管理費	2,848,303
当期支出合計(C)	13,096,999
当期収支差額(A)-(C)	-779,744
次期繰越収支差額(B)-(C)	51,514,740

2017年度貸借対照表

2018年9月30日 現在

単位:円

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
1. 現金	208,024	1. 正味財産	54,014,740
2. 普通預金	9,954,536		
3. 定期預金	43,852,180		
資産合計	54,014,740	負債・正味財産合計	54,014,740

2018年度 事業計画

(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1. 定期総会の開催
2. 同窓会報・ホームページ等による情報発信
3. 本部・支部及び各支部間の連携強化(会員増強のための情報提供)
4. 支部設立の推進
5. 会員名簿の整理及び管理
6. 本部総会・各支部総会への会員出席者の向上
7. 在学生への援助(奨学金・課外活動)
8. 経費の節減

【支部及び支部長一覧】

支部名	支部長	任期
都道府県支部	広島支部	風呂 実雄 (第10期)
	関西支部	林 永年 (第10期)
	福島支部	斎藤 晋一 (第16期)
	静岡支部	山崎 成 (第4期)
	新潟支部	吉井 道代 (第18期)
	群馬支部	鈴木 清照 (第8期)
	宮城支部	小松 智 (第8期)
	四国支部	宇都宮吉彦 (第11期)
	長野支部	春日 健三 (第3期)
	韓国支部	元 義幸 (第31期)
運動・研究会	剣道部支部	柴崎 雅治 (第19期)
関連支部	ハンドボール部支部	滝上 徹 (第5期)
	経営情報システム研究支部	滝口 猛 (第10期)
職域支部	飯山会支部	植木 茂雄 (短2期)
	観光産業支部	杉原 一光 (第2期)
	教員支部	和内 広行 (第18期)
	会計人会支部	高崎 洋一 (第28期)
	不動産支部	持丸 浩一 (第14期)



平成30年度
学位記授与式

2019年3月16日（土）横浜商科大学体育館にて



卒業記念パーティ



社会という壁にぶつかっても負けるな！236名の若者がはばたいて行きました。

ご挨拶にかえて

「商大2020新たな挑戦」

商学部長 佐々 徹 教授

横浜商科大学同窓会の皆様には、日頃より本学の教育・研究活動に多大なるご協力とご支援をいただいております。衷心より感謝申し上げます。

さて、皆様もご存知のとおり、来年は半世紀ぶりに東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。2020年は、日本のスポーツ史において永遠に語り継がれる一年となることでしょう。そして、この記念すべき年に、本学では新たに経営情報学科スポーツマネジメントコースを開設します。

スポーツマネジメントとは、スポーツの機能と特性、それが持つ価値や魅力を引き出して、これらを社会の発展や私たちの幸福の実現につながる事業や活動を継続して推進する力です。本学が開設するスポーツマネジメントコースでは、その力を構成する知

識やスキルを4年間で学んでいきます。アスリートの育成を目指すコースではありません。

スポーツマネジメントという言葉が日本でも普及し始めたのは、1990年代に入ってからです。そして、2007年に「日本スポーツマネジメント学会」が設立され、この分野の研究と教育が進められていきました。

本学がスポーツマネジメント教育を始めたのは、ちょうどその頃です。2005年度入学者からの教育課程で導入した「プロフェッショナルコース」(選択制の専門科目コース)の1つに「スポーツマネジメントコース」を設置しました。「教養としてのスポーツ科学」、「地域社会とスポーツ」、「スポーツマネジメント研究」、「スポーツ産業研究」等の12科目を2年生から

必修で学ぶコースです。当時、これほど整ったカリキュラムを構えてスポーツマネジメント教育に取り組む大学は体育系の学部を含めてもまだ少なく、商学や経営学系の学部においてはまさしく先駆的でした。

実は、このコースのカリキュラムを設計し、大学に提案したのは、本学の教員ではありません。その当時は大学院でスポーツマネジメントの研究に取り組んでいた本学卒業生の奈良堂史さん(2003年3月卒業。現在は関東学院大学准教授)です。彼が、スポーツマネジメント教育の重要性に早くから着目し、カリキュラムを設計してコースの開設を提案してくださいました。それが本学におけるスポーツマネジメント教育の礎となっています。

本学卒業生が蒔いたスポーツマネジメント教育の種が芽を出し、成長し、15年を経て入学定員60名の「経営情報学科スポーツマネジメントコース」という大きな果実になりました。同窓会の皆様には、

かくして実を結んだ本コースと、本学におけるスポーツマネジメント教育のさらなる発展に対しまして、ご協力・ご支援をいただけますれば幸いです。東京オリンピック・パラリンピックの年に始まる本学の新たな挑戦を、ぜひ応援してください。



公認会計士・税理士試験・簿記一級合格者数について

本学の税理士・日商簿記講座（1級・2級・3級）は、同窓会会計人会（当時）の全面的な協力を得て、平成13年度から本格的にスタートしました。講師陣は、本学のOB・OGの税理士を中心に正規の講義時間の2倍〜3倍の時間をかけて個別指導まで行っていた。その成果が「公認会計士試験・税理士試験・日商簿記一級合格者数一覧表」に表れています。

そもそも、高校在学中に日商簿記1級を取得した者は、本学特待生として、入学金・授業料等の学納金を全額免除され、また、在学中に日商簿記1級取得者も特待生として授業料等を免除され、さらに、在学中に税理士試験の科目合格者も特待生として授業料を免除されてきました。このような変遷を経て、現在、キャリアセンターが中心となって資格取得講座が継続しています。

ちなみに、今年度秋期受講者数は、税理士講座7人、日商簿記講座1級34人、2級17人、3級14人です。

講座開設当時を振り返ると、特待生制度の導入、講座のカリキュラム編成、講師陣の選定と依頼等々、当初から関わっていた私にとっては望外の喜びであります。また、大嶋裕前会長、山崎好美会長、高岡周一郎副会長には、筆舌に尽くしがたいほどご支援、ご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

在学中の税理士試験2科目合格者は8人も出ており、学生の努力と講師の先生方の情熱溢れる指導の結果が顕著に表れています。今後も学生のたゆまぬ努力と講師の先生方の情熱溢れるご指導を期待し、同窓会の今までのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

商学科長・図書館長・教授
佐藤 義文

公認会計士試験・税理士試験・日商簿記1級 合格者数一覧表

年 度	公認会計士		簿記論		財務諸表論		法人税法		消費税法		日商簿記1級	
	在学生	卒業生	在学生	卒業生	在学生	卒業生	在学生	卒業生	在学生	卒業生	在学生	卒業生
平成14年度			1	1		1					1	
平成15年度			2		1							
平成16年度			1		1							
平成17年度												
平成18年度											3	
平成19年度		1		1	1	1						
平成20年度		1		1	1				1			
平成21年度		1	1		1						1	
平成22年度			1									
平成23年度					1	1						
平成24年度			2					1				
平成25年度					1							
平成26年度			2		1							
平成27年度		1									1	
平成28年度			2		1						2	
平成29年度					2						1	
平成30年度			2									
合 計		4		17		14		1		1		9

訃報

（元学長・名誉教授）
宮原義友 逝去



会員の皆様にお知らせする事がございます。同窓会としても設立から各支部設立に対しても多大なご尽力を頂いた『宮原義友』先生（元学長・名誉教授）が今年の1月1日にご逝去されました。

私自身も商大入学試験当日筆記試験終了後の面接では宮原先生が面接官で応対された事を懐かしく思い出します。また、同窓会の運営に携わって以降様々な場面で先生からアドバイスを頂戴した事を懐かしく思い出します。会としても大きな精神的な支柱を失った感があります。

〃先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。〃

同窓会会長

山崎 好美

新会員紹介

商学部観光マネジメント学科卒業

古田 桜

平成31年3月に横浜商科大学を卒業後、新社会人になりました。入社後は新たに学習することが多々あり、非常に充実した日々を過ごしています。

現在改めて商大での学生生活を振り返ると、春季は講義と所属していた弓道部の活動、夏季休暇は部活動とゼミの合宿、秋季は講義と試合、冬季も休暇期間は部活動と、過去の学生生活と比較して積極的に行動したと感じています。その中で私が出た事は、視野を広く持つことです。これには二つの要因があります。

一つめに、ゼミでは羽田ゼミに所属し観光を学び、卒業テーマとして日本版DMOに關して研究しました。ゼミ活動では、仮設を立て調査を行い理解を深めるよう心掛けました。

最初のフィールドワークで

は、着眼点が絞れず事後学習でも十分に意見を出すには至りませんでした。その後、日光や京都での合宿を重ね、場数を踏むことで課題点や考察する際の基準を探し出せるまでに進歩しました。特に卒論については、参考文献として他大学の論文等さらに踏み込んで調査して知識を得られました。これらに加え、講義では宿泊や交通等興味のある学問を第一線でご活躍されている講師の方から教わることで、学問に対する面白さを体感しゼミの学習に反映させられたと考えています。

二つめに、弓道部の活動において、基礎の大切さを習得しました。

入部当時は弓を引く技術が最も大切だと思ひ込みが有りました。しかし、審査や試合への出場機会が増え、矢を放つまでの動作一つでも欠如すると全体の完成度が満足いくものにならないと感じました。また、的の中せず苦戦している場合、フォーム等初期に教わった内容を再度復習する事で解決出来るケースがあ

りました。従って、困難な時は基礎や初心に戻ることを身を以て学びました。

これらの経験により、商大では悔いのない学生生活が送られたと感じています。今後商大に入学し卒業する学生の皆さんには、興味を持った物事に關して先ずは取り組み、自分の経験や思考の幅を広げて頂きたいです。今後は、自分の行動を社会に役立てられるよう精進していきたいです。

商学部経営情報学科卒業

前田 智哉

私の大学での思い出を振り返ってみると大学生活はあつという間に過ぎていったように感じる。緊張した気持ちで臨んだ入学式。今までの高校の授業とは違う、90分の授業を初めて受けた時にヘトヘトになったのをよく覚えていた。大学生活での不安はSA

の先輩方に助けられながら解消され、落ち着いた気持ちで新しい大学生活を始めることが出来た。学校の中にコンビニやカフェがあることが目新

しく、昼食を取る場所に迷ったのも思い出される。

2年生から始まったゼミナールでは、同級生と「子供の成長と発達」について研究し、グループワークをしながら、発表してより理解を深めていった。ゼミと共に始まった教職課程では通常の授業と教職の授業の両立に苦労しながらも、教員としての基礎の勉強を努めていった。

3年生では教育実習に向けた模擬授業に取り組んだ。放課後空いた教室で練習しながら、自分なりの授業を組み立てていった。模擬授業の回数を重ねるごとに新しい発見があり、同級生の模擬授業を受けてみるとその人の個性が出て、とても参考になった。仲間同士で切磋琢磨しながら、もっと良い授業が出来るように工夫してきた1年であった。

4年生ではいよいよ始まった教育実習と卒業論文に追われた期間であった。模擬授業で1年間練習をしてきたが、実際の教育の現場で授業をすることは練習とは異なり、授

業のポイントの伝え方や、生徒との交流に戸惑いながらも教育実習という貴重な機会をもつて取り組んだ。

卒業の集大成として卒業論文にも取り組んだが、ゼミで学んだ子供の成長と発達から「学校教員の長時間労働問題について」を卒論としてまとめた。当初、提出する文字数の多さから自分が本当に書き上げることが出来るのか心配になったが、指導いただいた先生のアドバイスを頂きながらなんとか書き上げることが出来た。

このように4年間の思い出を振り返ってみると、自分の大学生活は本当に後悔なくやり切ることが出来たのだろうかと考えることがある。「もっとやれることがあったのではないか」と思ってしまう。だが、過去をいくら振り返っても戻ることが出来ないし、私たちが生きているのは「今」である。大学での思い出を胸に、悔いのない人生を歩むために一步一步進んでいこうと思う。

支部だより

関西支部長

林 永年

平成30年12月1日(土)午後0時30分、リーガロイヤルホテルにて支部会員4名出席。大学より商学部長佐々徹教授、観光産業支部長・杉原氏の出席を頂き、開催された。上程議案全て承認され、その他として支部活性化支援金を「支部旗」作成の為、申請することも全員一致で決定された。

当支部総会は昨年からの第一土曜日の午後1時から大阪駅近辺に変更したが、参加者の増員に繋がらなかったのは残念



念である。これから若い方々の知恵を借り支部活動を活性化したい。

また、夏の総会は毎年8月又は9月の平日の夕刻に大阪市内で開催している。いろいろ企画を考えているので、是非出席していただきたい。

最後に、支部旗の作成にあたり、山崎同窓会長をはじめ、同窓会事務局、大学の関係者、支部会員などの皆様の応援があり令和元年5月28日に完成した。

心より皆様に感謝し御礼申し上げます。

静岡支部長

山崎 成

第22回支部総会を令和元年6月30日午後1時より静岡グランドホテル中島屋にて開催(出席者8名)

今年の総会は、愛知・岐阜・三重県の卒業生にもご案内をして、四県合同での開催を企画しました。

大学より佐々学部長、本日より高岡副会長、東京より志田様の出席を頂きました。

総会では支部名を「東海支部」に変更して愛知・岐阜・三重県の卒業生を含めた四県体制についての提案をしたところ、出席会員から協力的な

意見を出して頂きました。

総会後は佐々学部長より大学の現状と今後についてのお話があり、質疑応答のあと懇親会へと移りました。

懇親会は少人数ではありましたが、大変に会話がはずみ、良い感じで時間が流れました。今回は愛知県の神納さん(19期卒)1名のみのお出陣でしたが、次回は愛知・岐阜・三重県からも多数の会員と懇親が深めれば幸いに思います。

では、今後とも会員の皆様のご活躍を祈念しております。



群馬支部長

鈴木 清照

令和元年7月13日(土)、高崎ワシントンホテルプラザ

にて

支部設立のきっかけは、いたって単純なものでした。観光産業支部長の杉原氏から同窓会本部の総会に誘われ、そこで、いくつかの地方支部の存在を知りました。

群馬にも支部があれば、本部の総会に出席しなくても良いのではとの思いから、本部事務局に、群馬支部設立について問い合わせたところ、早々に必要な資料が送られてきたため、私が設立手続きをせざるをえなくなったので

新潟支部設立の手順等を参考にさせていただきながら、半年間は、群馬県在住の卒業生と電話連絡を取り、又直接会って打合せを重ね、やっとの思いで「設立総会」にこぎつけた事は懐かしい思い出です。その後、支部会報「上州からっ風」を発行し、活発な活動を会員の方々に発信しましたが、予算削減の為ただ今休刊中です。是非また復活させたい気持ちでいっぱいです。

支部総会「第15回」を令和元年7月13日(土)に開催されました事は支部会員の皆様と役員の方々の支えがあつてこそであり、本部の皆様のご

支援によるものと深く感謝致します。

今後も群馬支部は試行錯誤を重ねながら、前へ進んでいこうと思います。

最後に同窓会の発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



飯山会支部

令和元年6月16(日)12時より本学卒業生の稲垣氏が勤務するホテル横浜キャロットジャパン(横浜駅西口)にて出席者18名にて開催されました。

総会では上程議案全て可決されました。懇親会では年齢に合わせて和食コースでしたが、皆、少し物足りない様子。

まだまだ現役でしょうか？若
さ溢れる飯山会でした。



韓国支部
平成31年4月27日(土)
午後6時より、韓国ソウル
市内にて



観光産業支部

坂本 直生

今夏、大学のキャリア支援
部様よりお声掛けを頂き私の
勤める旅行業界について話を
する機会を頂きました。

これは就職活動を控えた3
年生を対象に「キャリア形成
5」という科目で職業意識を
醸成するキャリア教育科目と
いうテーマの講義です。

私以外にも様々な業種で働
く同窓生が参加し各業界の仕
事内容について話をしまし
た。

就職という進路選びの参考
に、業界のことや社会人とし
て必要な要素を現場で働く私
達より生の声を聞いてもらう
ということが主題でした。

当日は予めグループ分けさ
れた学生さんのテーブルを回
り学生の皆さんへ話をするス
タイルでスタートしました。

旅行の仕事とは・・・一般
的にイメージされるカウン
ターでの接客や添乗業務の他
に私達が行っている客先への
営業活動、旅行代理店への卸
販売、仕入部門やコールセン
ター等があることを説明した
ところ、とても新鮮に感じて
もらえたようでした。

今回「旅行業界を目指そう」
という学生さんは少なかつた

印象ですが、知らなかつたこ
とを習得し旅行業について少
しでも記憶に残し、業種選択
のヒントになれたなら目的を
果たせたものだと思います。
今回印象深かつたことは後
輩たちの熱心な姿でした。こ
れはこの日の講義のためだけ
にできるものではなく常日頃
の先生方のご指導によるもの
であろうと後輩たちの姿を誇
りに帰路へとつきました。

大学不動産連盟総会

担当開催校 学習院大学

令和元年6月19日(水)、
学習院創立百周年記念会館にて



新潟支部

令和元年8月31日(土)、
午後12時30分、新潟万代シル
バーホテルにて



宮城支部

令和元年9月6日(金)
午後6時より
亜門(仙台市内)にて



広島支部

令和元年9月7日(土)
午後7時より
博多ふあいそ別邸(広島市
内)にて



編集後記

母校・横浜商科大学は
着実に一歩ずつ未来へ
向っています。同窓会も
歩みをとにもまい進した
いと思います。会報48号
発行にあたり、皆さまに
ご協力いただきありがと
うございました。この会
報はHPに10年間掲載さ
れますことをご了承願
います。

— 紀 —

校友と親睦を深めよう

第44回定期総会・懇親会のご案内

日頃より、同窓会活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
本会も44回を迎え、会員数も21,200名を超え、各方面で大活躍されています。
さて、令和最初の定期総会・懇親会を下記の通り開催いたします。ご多用中とは存じますが是非ご出席いただき、会員の皆様のお力添えを母校と同窓会にお願いいたしますようご案内申し上げます。

記

日 時：2019年11月9日(土) 午後4時より総会
午後5時より懇親会

場 所：新横浜国際ホテル(南館) TEL045-473-1311
JR 新横浜駅北口 徒歩5分
市営地下鉄新横浜駅7番出口 徒歩3分

議 案：① 2018年度 事業報告・決算報告
(2017/10/1～2018/9/30)
② 2019年度 事業計画・予算案
(2018/10/1～2019/9/30)
③ その他

会 費：8,000円 (ご夫妻同伴大歓迎)
本年度卒業の新会員はご招待！
(2019年3月・9月卒業の方)

～懇親会には先生方・職員の方々多数出席予定です～

第14回支部長会議

当日同ホテルにて 午後2時より開催いたします。

お問い合わせ：同窓会事務局 TEL・FAX045-583-9031

同窓会への
連絡・質問は

5号館2階事務局まで
月・火・木・金
午前10時から午後4時30分まで